

“Assess-Innovation”による卓越した「競争優位の顧客価値実現」をめざして

## 「アセス・イノベーター養成講座」のご案内

3年目に入ったTMQAの活動も、いまや啓蒙・普及段階から会員組織の実践導入支援段階へとステップ・アップを図る時期を迎えたとの認識から、平成16年度通常総会では「魚津会場新設」「商売繁盛塾開講」「アドバイザー制度創設」などの事業とあわせて、啓発強化プログラムを体系化した『アセス・イノベーター養成講座』シリーズを新年度事業計画としてご案内いたしました。

昨年度までは、啓発プログラムとしては、経営品質の理解と導入のための支援研修として「経営品質入門コース」および「経営品質アセスメントコース」（アセッサー養成コース）を開催し、多くの方々のご参加をいただき、約50名のセルフ・アセッサーが誕生し、少なからぬ企業が経営品質の取り組み段階に入っています。とはいえ、経営品質の考え方を組織内に実際に導入するに際しては、先導役としての経営幹部やセルフ・アセッサーの方々の力量を一層強化しなければならないとの課題意識が、事務局はもとより導入企業からも生まれてきました。特に、①セルフ・アセスメントはもとより、経営革新の現場展開にあたって必須不可欠な「対話～合意形成スキル」の基本理解が不十分なこと、②基礎的セオリーを踏まえない持論や一般論だけでセルフ・アセスメントを行っても、自社の仕組みの革新に向けた発展的な改善提言ができないこと、などが専門有識者などからも指摘されてきたのをうけて「対話～合意形成スキル基本コース」「経営品質の背景理論コース」をそれぞれ新しく企画準備いたしました。さらに、6日間に及ぶ「経営品質アセスメントコース」（アセッサー養成コース）は時間的に参加が難しいとの声も少なくなかったことも踏まえて、2日間通いの「アセスメント演習コース」を独自に企画し、下記のような『アセス・イノベーター養成講座』シリーズとして、プログラムを体系化いたしました。

各コースについては、開催日程が決まり次第、順次ご案内いたしますので、各企業におけるアセス・イノベーター育成教育の一環としてぜひご活用くださいませ。

なお、「アドバイザー制度」における「TMQA登録アドバイザー」としては、セルフ・アセッサーの方々の方が有資格者としてノミネートされますが、『アセス・イノベーター養成講座』シリーズの「Step2：対話～合意形成スキル基本コース」「Step4：経営品質の背景理論コース」が必修となりますので、あわせてご案内いたします（\*詳細は、正式決定後に各アセッサーにあらためてご案内いたします）。

### 「TMQA アセス・イノベーター」養成講座シリーズ

#### Step1 『経営品質入門コース』（6時間/12,600円）[30名]

- ねらい：アセス・イノベーションの準備ツールとしての「アセスメント基準書」の基本理解

#### Step2 『対話～合意形成スキル 基本コース』（8時間/21,000円）[30名]

- ねらい：組織学習・組織革新推進の前提としてのDDPの予備訓練とチーム構築の重要性理解

#### Step3 『アセスメント演習コース』（2日通い・18時間/56,700円+食事代）[30名]

- ねらい：セルフ・アセスメントの「作法」と「実技」の要諦をセミ・アセスメント形式で習得

★JQA『経営品質アセスメントコース』（アセッサー養成コース/6日間）の趣旨を活かした上で、2日通いのコースとすることで、より多くの方がアセスメント方法論の基礎を学びやすいようにアレンジしました（\*フル・アセスメントによる習得を希望される方は、JQAの『経営品質アセスメントコース』をご受講下さい）

#### Step4 『経営品質の背景理論コース』（合計20時間/63,000円）[30名]

- ねらい：セルフ・アセスメントを行う上で必須の経営や経営品質に関する背景理論を習得

- [1] マネジメントと組織（6時間/18,900円）
- [2] マーケティングと戦略（5時間/15,750円）
- [3] リーダーシップと動機づけ（5時間/15,750円）
- [4] クオリティ論（4時間/12,600円）